

コミュニケーション論(2017年度)

金曜日・3限・前期

担当：佐藤 響子

1. 扱う分野

- ・語用論(pragmatics) < 言語学(linguistics)
 - ・言語の使用についての研究 ⇔ 言語の構造についての研究
 - ↳ 発話が聞き手にどのように理解されるのか、なぜその表現を使用するのか
 - ↳ 会話の特徴：字義通りの意味(見えるもの)+発話意図(見えないもの)
「心は見えないけれど、心遣いは見える」宮澤章二『行為の意味』
- (例1、例2、例3、例4、例5)

2. 字義通りの意味と発話意図のギャップいろいろ

- 1) 意味の曖昧性 (意味が複数あること)
例6) 水曜日までに提出すること John wrote a letter. (手紙・文字)
- 2) 意味の間接性 (形式と意図が異なること)・慣用化
例7) お母さん/おうちの人がいますか? Could you pass me the salt?
- 3) 意味の不透明性
例8) おれも男だ(事実<—————>意図) Business is business.
- 4) 意味の文脈依存性 (文脈の中で意図が決定できること、流動性あり)
例9) おなかすいたねえ You will be there tomorrow. (要請・賭け・予言)

3. 学問の基本スタンス

- ・当たり前の日常がどのようにして成立しているのかを問う

4. 扱う言語：英語(を中心に)と日本語

- ・客観性
- ・英語科指導への応用

5. 授業と評価

- ・講義形式
- ・テキスト：George Yule 著 *Pragmatics* (1回に1章の予定)
- ・評価：コメントカード50点+期末試験50点(14回目7月14日予定)

Email : ksato@yokohama-cu.ac.jp

Office : 総研棟 226

Homepage : <http://kyokosatoh.jimdo.com/>